

ウスバシロチョウ

「チョウ目・アゲハチョウ科」

越生町の山間部では年に1回、5月上旬頃にやや大型の白い蝶が飛び交います。ウスバシロチョウです。アゲハチョウ科の中では珍しく、ハネの形状は丸く、白色で半透明の部分もあるため、一見するとモンシロチョウの仲間のシロチョウ科のように見えますが、



ハネを広げるウスバシロチョウ（左） 吸蜜（右）

アゲハチョウです。そのためウスバアゲハの名称もあります◆氷河時代の生き残りといわれ、日本では四国・北海道に分布し、九州には分布しません◆幼虫の食草は、本州ではムラサキケマンやシロボウエンゴサク、北海道ではエゾエンゴサクなど、ケシ科の草を食べます。このケシ科はアルカロイドのプロトピンを含み有毒です。そのため、ケシ科を食べるウスバシロチョウは鳥などにとっては有毒です◆この蝶は、成虫は羽化後まもなく枯れ枝などに産卵します。卵はそのまま冬を越し、春に食草の葉が開くと同時に孵化し、食草にたどり着いて摂食します。幼虫期は40〜60日、蛹期間は約2週間です◆埼玉県内では山間地域に普通に生息します。昨年(2012)5月13日には、越生町古池の休耕田で多数の個体が飛ぶのを確認しました。日が射すと一斉に飛び出し、地上から1mくらいの所をゆつくりと飛翔します。

(阿部 功)

あなたの意見で越生が変わる！

～町政活性化推進室でお待ちしています～

町では、町民のみなさんの意見を尊重したまちづくりを推進するため、『町政活性化推進室』を新たに開設しました。この推進室は、町民のみなさんからの町政に対するご提案などを伺うためのオープンスペースです。伺ったご提案で、可能なものは、すぐにでも実行していきたいと考えております。

越生町の明日を創る建設的なご提案をお待ちしております。



※準備の都合上、来庁される前にご連絡をいただくと助かります。ご協力お願いいたします。

問 総務課 自治振興担当 TEL 内線 215 FAX 292-5400

✉ webmaster@town.ogose.saitama.jp

5月の納税

固定資産税 第1期
軽自動車税 全期
(5月31日まで)

人口と世帯

4月1日現在
()は前月比

総人口 12,537人(-36)
男性 6,253人(-21)
女性 6,284人(-15)
世帯数 4,915世帯(+1)

あそがき

今年5月の担当を任せられました『太陽』です。新米ホヤホヤなので庁舎内ルールを覚えるのに悪戦苦闘。町外出身なので車移動は右往左往。機械音痴なので広報制作は四苦八苦。10日目時点では『月』先輩に迷惑ばかりかけています。もはや、あそがきという名の成長「月記」です。広報紙を通して暖かく見守ってください。皆様と取材等でお会いできることを楽しみにしています!! (太陽)



【お詫びと訂正】
4月号の10ページまちのわだいな「忍田一雄さん米寿の祝い射会」の記事内において、『現在四段の腕前』と表記すべきところを『現在三段の腕前』と表記してあります。訂正し、ご迷惑をおかけした皆様に深くお詫び申し上げます。